

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	健康の科学 (Health Science)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	人体の仕組みと健康		
担当者名 (Instructor)	丸山 雄介(MARUYAMA YUSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

健康維持のためには己の体とそこに生じる様々な疾病について詳しく知る必要がある。そこで本授業ではまず健康を考える上で必要不可欠な人体の構造と機能への理解を深める。また、疾病のメカニズムとその予防方法・治療方法についての基礎知識を身に付けることを目標とする。

In order to maintain good health, it is necessary to have detailed knowledge about one's own body and the various diseases that occur in it. In this course, the students will have better understanding of the structure and functions of the human body, which is essential to study health. In addition, they aim to acquire the basic knowledge about the mechanism of diseases and their prevention and treatment methods.

授業の内容(Course Contents)

1. 人体の構造と健康を維持する仕組みについて講義する。
2. 代表的な疾病についてそのメカニズムと予防方法・治療方法を紹介していく。
3. 生命に関する倫理的問題についてもいくつか検討する。

- "1. Lecture will be given on the structure of the human body and the mechanism of maintaining health.
2. Mechanisms of representative diseases and their prevention and treatment methods will be introduced.
3. Some examples of life-related ethical issues will be examined."

授業計画(Course Schedule)

1. 健康と病気について考える
2. 人体の構造と維持する仕組み
3. 人体を動かす仕組みを知る
4. 免疫の仕組みを知る
5. さまざまな感染症とその対策を考える
6. ガンの発生と仕組みを知る
7. 生活習慣病とは何か
8. 脳の機能について知る
9. 精神および行動の障害を脳機能の側面から理解する
10. ホルモンによる身体機能の調節
11. ホルモンの異常に伴う疾患について
12. 生殖医療の仕組みと様々な問題点を考える
13. 先端医療について知る
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業内容に関連する項目について質問し、コメントペーパーへの回答を求める。単に聴講するだけではなく積極的に予習・復習することが望ましい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/出席兼コメントシートの内容(30%)/中間テスト(20%)
授業内で中間テストを行う。全授業の 2/3 以上の出席した場合に成績評価の対象とする。

テキスト(Textbooks)

テキストは使用しない。必要に応じて資料を配布する

参考文献(Readings)

1. シルビア S.メイダー、2005、『ヒューマンバイオロジー 人体と生命』、医学書院 (ISBN:978-4-260-00156-4)

2. 木村康一・永松俊哉、2021、『学生のための健康管理学 第3版』、南山堂 (ISBN:978-4-8420-6596-0)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)